

夫は外で働き、妻は家庭を守るべき？

性別役割分担意識の変化

男女平等などに関する19年前（平成4年）の世論調査では、賛成の割合が6割を超えていました（図3）。7年前（平成16年）の調査で初めて反対が賛成を上回り、4年前（平成19年）の調査では反対が5割を超えました（52.1%）。

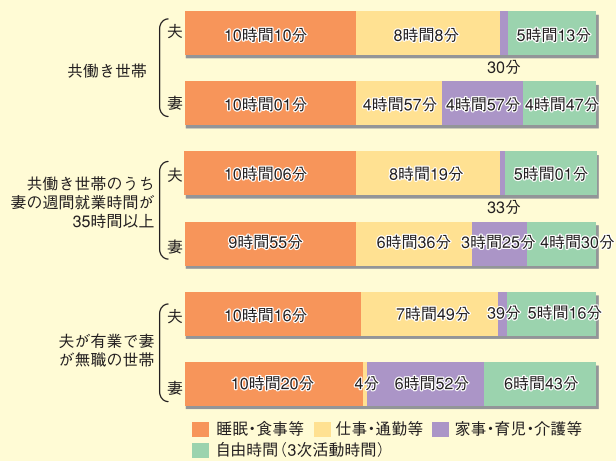
男性は2年前の調査で初めて反対が賛成を上回り、男性の意識も変わってきたようです。今ではベビーカーを押す父親や、スーパーなどで買い物を楽しむ父子の姿、保育園の送り迎えなども珍しくありません。

20年前（平成3年）を振り返ってみると、多くの女性は働いていても家事・育児・介護をこなすことが当たり前という不平等な現実がありました。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という意識は変わってきているようですが、現実はどうでしょうか？

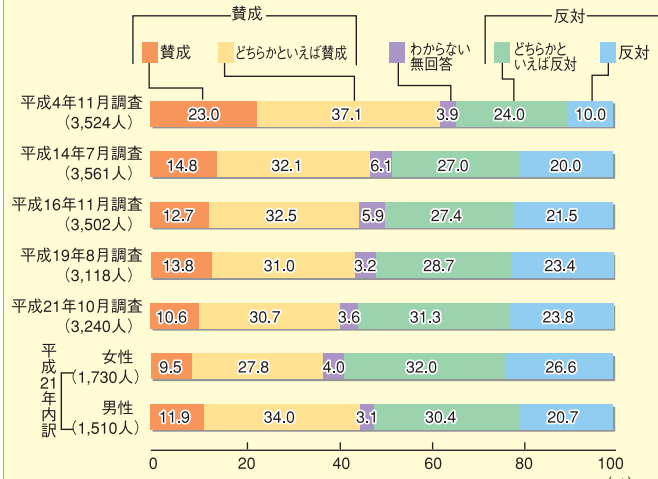


図4 夫婦の生活時間



参考：総務省「社会生活基本調査」（平成18年）より作成。

図3 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるという考え方について



参考：内閣府「男女平等に関する世論調査」（平成4年11月）
「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成21年10月）より作成。

変わっていない 家事労働の分担

夫婦の生活時間の変化

この20年間「育児・介護休業法」など、働く男女の仕事と家庭の両立を目指して、さまざまな法律が施行されました。また、以前は女子生徒だけの必修科目だった家庭科も、18年ほど前から男女共修で行われるようになりました。性別役割分担意識は変化しているようですが、実際、夫婦の生活時間に変化はあったのでしょうか。

平成18年の夫婦の生活時間のデータによると、夫の家事などの時間は、妻の就労状況に関わらず30分程度と非常に短いことがわかります。妻は、就労時間にもよりますが、4〜7時間（図4）。家事などをほとんど妻に任せるといえる形は、20年前とあまり変わっていないようです。男性に比べ、女性は多くの時間を家事・育児・介護などの無償労働に費やしているのです。

男性の長時間労働による「家事をしたくても、できない」という声が聞こえてきそうですが、法律や意識が変わってきた今、生活の変化も期待したいものです。

（平川）

2000 (平成12)	1999 (平成11)	1998 (平成10)	1997 (平成9)	1996 (平成8)
<ul style="list-style-type: none"> 「児童虐待防止法」「ストーカー行為等規制法」制定 「男女共同参画基本計画」閣議決定 「清瀬市男女平等推進プラン」策定 	<ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画社会基本法」公布・施行 「女性行動計画への提言」市長へ提出 	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄有楽町線が清瀬駅まで乗り入れる 「男女平等に関する市民意識・実態調査」実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「介護保険法」成立 「アイレック」の講座修了生より子育てネットワーク・ピッコロ誕生 	<ul style="list-style-type: none"> 「男女共同参画2000年プラン」 20号より編集はアイレックに
<p>37号 なくそう！児童虐待</p> <p>36号 「市民一人ひとりが一緒に考え行動していきましょう」清瀬市男女平等推進プラン</p> <p>Ms. スクエア</p> <p>第35号</p>	<p>33号 私の居場所 「自分を取り戻せる場所ありますか？」</p> <p>32号 女性行動計画と私たちの暮らし 女性行動計画への提言を終えて</p> <p>31号 女性行動計画と私たちの暮らし 座談会「家族」いろいろ</p> <p>30号 女性行動計画と私たちの暮らし もっとうるかそう女性たちの声</p>	<p>29号 女性行動計画と私たちの暮らし 働き続けたい女性のために</p> <p>28号 女性行動計画と私たちの暮らし 生活の目立ててくいますか？</p> <p>27号 男の定年</p> <p>26号 若い女性の心とからだをみつめる かけがえのない「私」を生きていますか</p>	<p>25号 女性たちの新しい「歩」 「仕事をしながら豊かに生きる」</p> <p>24号 お父さん元気でですか？</p> <p>23号 介護 ひどいでも安心して暮らせる未来を</p> <p>22号 少子化というけれど</p>	<p>21号 現代結婚事情</p> <p>20号 アイレックほだあいの場 女が働くとき結婚・出産・子育て</p> <p>19号 市長インタビュー きよせと共</p> <p>18号 きよせに新しい風を！</p>